

【平成31年度 予算要求の経営方針】

北九州市議会では、平成23年10月に「北九州市議会基本条例」を制定し、市民との協働による開かれた議会の実現を図り、市民の福祉の増進及び市勢の発展に寄与することを目指している。

平成31年度も引き続き、議会基本条例の趣旨に則り、議会の機能強化及び開かれた議会の実現、円滑な議会運営の推進に向け、事務の執行に努めていく。

【平成31年度 予算要求の基本的な考え方】

☉：新規事業 ☺：拡充事業

☉議会の機能強化

要求額 264百万円 (対前年度+1.3%)

議会の政策立案及び政策提言等に関する機能強化を図る。

- ☉タブレット端末の導入・・・市議会議員及び関係職員にタブレット端末を配付、運用し、議員活動の支援強化を図るとともに紙購入費や人件費等の削減を図る。
- ・ 常任委員会活動の充実強化・・・議案・陳情等の審査に加え、議会の政策立案や政策提言機能強化のため、常任委員会における所管事務調査に積極的に取り組む。
- ・ 市議会政策立案支援事業・・・政策立案や政策提案、議員立法に資する講演会、勉強会等を開催し、議員が効率的かつ効果的な政策立案を行える環境を整える。
- ・ 政務活動費交付金・・・議員が行う、調査研究活動など必要な経費の一部として、市議会各会派に対し交付する。
- ・ 議会図書室蔵書整備・・・議員が市政の調査研究を行ううえで必要な資料の収集・保管に努め、議会図書室の充実を図る。

☉市民との協働による開かれた議会の実現

要求額 27百万 (対前年度+2.0%)

議会の審議内容や議会活動に関する情報を、市民にわかりやすく提供する。

- ☉市議会中継・・・ケーブルテレビで本会議の質疑・質問を主に中継する。インターネットでは、全ての本会議と予算・決算特別委員会（市長質疑）を中継する。
- ・ カフェトーク・・・市民に市議会をもっと身近に感じてもらうことを目的に、本市の課題をテーマにした基調講演、パルディスカッション、参加者との意見交換を行うトークイベントを実施する。
- ・ 市議会だより・・・定例会ごとに、タブロイド版に加え、点字版、テキスト版・音声版も併せて発行する。



☉その他

要求額 84百万 (対前年度-13.8%)

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。